



# 愛西市

AISAI CITY  
ASSEMBLY

# 議会だより

No.37

2014.8.1



船頭平河川公園の花はす（あいさい写真クラブ提供）

人々が和み、  
心豊かに暮らすまち

6月定例会 審議結果と議員の賛否 …… 2

議案質疑・討論・人事・活性化協議会 … 3

特集 国保の現状 …………… 6

**ここが聞きたい 一般質問 …………… 7**

海南病院院長との意見交換会・  
愛西市有財産有効活用事業「松永邸視察」…………… 17

議会活動日誌 …………… 18

発行/愛西市議会  
編集/議会広報特別委員会

〒496-8555  
愛知県愛西市稲葉町米野308番地  
TEL(0567)26-8111 FAX(0567)26-7141

## 平成26年6月定例会 議案審議の結果と議員の賛否

○：賛成 ●：反対

議案	審議結果	新生愛西クラブ								平成会				日本共産党 愛西市議団	公明党 あいさい	無所属				
		鷲野 聡明	大島 一郎	大島 功	堀田 清	島田 浩	神田 康史	杉村 義仁	近藤 武	大野 則男	山岡 幹雄	大宮 吉満	八木 一	鬼頭 勝治	真野 和久	加藤 敏彦	河合 克平	竹村 仁司	高松 幸雄	石崎 たか子
税条例等の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	●	●	●	○	○	○	○
国民健康保険税条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する 条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
火災予防条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
海部津島土地開発公社の解散	可	○	○	○	○	副議	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○
高規格救急自動車購入契約の締結	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
水槽付消防ポンプ自動車購入契約の締結	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度愛西市一般会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	●	●	●	○	○	○	○
愛西市長等の給料の特例に関する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
愛西市監査委員の選任(戸谷静治)	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
愛西市固定資産評価審査委員会委員の選任(河村 豪)	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
愛西市固定資産評価審査委員会委員の選任(服部康仁)	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
愛西市固定資産評価審査委員会委員の選任(浅井裕久)	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
愛西市固定資産評価審査委員会委員の選任(安達 清)	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
愛西市教育委員会委員の任命(中野良一郎)	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
新聞の軽減税率に関する請願について	採	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	●	●	●	○	○	○	○
手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願について	採	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
新聞等の軽減税率に関する意見書について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	●	●	●	○	○	○	○
手話言語法制定を求める意見書について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○

※(議)は議長で採決に加わっておりません。 また(除)は土地開発公社の理事のため採決には加わっておりません。

※(副議)は議長にかわり議事を進めたため採決には加わっておりません。

※審議結果の表示は、(可)可決 (否)否決 (同)同意 (採)採択です。

# 6月定例会

## 条例改正

### ■ 税条例の一部改正

地方税法等の一部改正により法人市民税（法人税制）、軽自動車税の税率を改正するものです。

### ○ 法人市民税の引き下げの影響は

**質問** 法人市民税の引き下げの影響は。減収分は交付税で見てもらえるのか。

**答弁** 平成27年度は約1千300万円、28年度は約2千800万円の減収と試算している。国は地方公共団体の行革等の努力に対して交付税を考えていく方針のようだが、具体的には把握できていない。

### ○ 軽自動車税引き上げの影響は

**質問** 軽自動車税引き上げによる増収は。市の軽自動車等の登録台数は。

**答弁** 改正で27年度は、約500万円、重課税適用で約2千100万円の増収と試算している。26年度の登録台数は、軽自動車1万7千873台、小型特殊自動車619台、2輪722台、原付2千786台。

### ■ 国民健康保険税条例の一部改正

地方税法等の一部改正により後期高齢者支援金等課税額、介護納付金課税額の限度額を改正するものです。

**質問** 軽減措置を受けている世帯の割合は。

**答弁** 国民健康保険の加入世帯は9千972世帯。その内、7割軽減1千862世帯、5割軽減943世帯、2割軽減

1千45世帯で全体の38.8%が軽減の対象。

### ■ 非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の改正により退職報償金の額を改正するものです。

**質問** 消防団員の確保の状況は。

**答弁** 定数385人に対し、現在375人で、10名不足している。

### ■ 火災予防条例の一部改正

消防法施行令の改正により屋外催しに係る防火管理等規定の改正をするものです。

**質問** 対象となる市内の催しは。また、地域の盆踊りなども対象となるのか。

**答弁** 今回の改正は、大きく二つの内容となってい

## 税制改正による主な軽自動車の税率変更（年額）

		① 平成27年 3月31日以前	② 平成27年 4月1日以降	③ 13年超
軽自動車【4輪 660cc以下】	乗用自家用	7,200円	10,800円	12,900円
	乗用営業用	5,500円	6,900円	8,200円
	貨物用自家用	4,000円	5,000円	6,000円
	貨物用営業用	3,000円	3,800円	4,500円

- ① 平成27年3月31日以前に取得及び新車新規登録された車
- ② 平成27年4月1日以降に新車新規登録される車
- ③ 平成28年4月1日以降新車新規登録から13年を超える車

		平成27年4月1日から
原動機付自転車【2輪 50cc以下】		2,000円

る。一つは、不特定多数の人が集まる催しでの、消火器の準備。市内としては納涼まつり、桜まつり、佐屋地区の文化祭バザー、体育大会など、屋外で移動コンロ、調理用具等を使用した場合が対象。地域の盆踊りなども対象となる。もう一つは、消防長が定める指定催し。露店10店舗以上、10万人以上の人出で、近隣では天王川祭。

### 海部津島土地 開発公社の解散

公有地の拡大に関する法律の規定により議会の議決を求めるものです。

**質問** 市町村への残余財産の配分は、どのようになるか。

**答弁** 出資金は7千万円あり、愛西市へは1千800万円戻す。事務費等の残余財産は、市10・町6・村3の比率で配

分される。

### 契約の締結

■ 高規格救急自動車購入契約の締結

契約金額 2千842万円

■ 水槽付消防ポンプ自動車購入契約の締結

契約金額 4千98万2千円

### 平成26年度 補正予算

■ 一般会計補正予算  
(2次)

補正額 1千23万4千円

総額 248億5千744万1千円

(主な内容)

ふるさと応援寄付金事業。社会保障・番号制度導入にかかる住民基本台帳システム改修委託料。道徳教育に係る

支援事業として絆を育む学校づくり推進事業への補助金などです。

○ ふるさと応援寄付金の使い道は

**質問** ふるさと応援寄付金事業は、どれくらいの寄付を見込んでいるか。また、寄付金の活用は。

**答弁** 1万円以上の寄付に対してレンコン、米500セツト分を予算計上したが、どれくらいの寄付があるかはわからない。寄付金は、一旦市民協働まちづくり基金へ積み立て、翌年度寄附者が希望する施策への特定財源とする。

○ 番号制度ー個人情報漏洩の危険は

**質問** 社会保障番号制度は個人情報の漏えいが心配されるが、その管理方法はどのようなか。

**答弁** 今まで各機関で管理していた個人情報は引き続き当該機関で管理して、必要な時に必要な情報だけをやり取りする仕組みとなっている。

## 議場に質問席を設置しました。



6月議会から議席中央に質問席を設置しました。一般質問は、市長など理事者と対面して行います。

# 討論

## 反対

ふるさと応援寄附金事業には賛成だが、社会保障・税番号制度導入については、①なりすまし犯罪を防ぐことができない、②3年後に民間分野への利用拡大が検討されている、③インターネットで照会できることで個人情報により危険にさらされるなど欠陥だらけであり反対する。

## 賛成

社会保障・税番号制度は社会保障データを一つにまとめるメリットがあると同時に、すべての個人情報が一括に集まることで、庁舎外への流出の危険が高まる。市のデータ管理の責任の明確化や職員の意識改革が必要。本稼働までにデメリットや危険に対する職員への周知徹底を要望する。

## 意見書

次の意見書が採択されました。

■ 新聞の軽減税率に関する意見書

■ 手話言語法制定を求める意見書

## 同意

次の選任に同意しました。

### 監査委員

戸谷 静治 氏 (森川町)

■ 固定資産評価審査委員会委員

河村 豪 氏 (内佐屋町)  
 服部 康仁 氏 (立田町)  
 浅井 裕久 氏 (二子町)  
 安達 清 氏 (西川端町)

## 推薦

次の選任に同意しました。

### 農業委員会委員

(議会推薦)

加藤 さゆみ 氏 (稲葉町)  
 伊藤 里海 氏 (早尾町)  
 飯田 喜美子 氏 (鵜多須町)  
 前野 順子 氏 (諸桑町)  
 を推薦しました。

### 教育委員会委員

中野 良一郎 氏 (高畑町)

# 議会活性化協議会

議員改選後の新しい委員を決めました。

座長

大野 則男

副座長

大島 一郎

委員

石崎 たか子

八木 一

真野 和久

鷲野 聡明

竹村 仁司

近藤 武



# ～「国民健康保険ってどんな保険？」～

## 国民健康保険は、みんながお世話になる保険

6月議会で、保険税の改正がありました。

### 高所得者は負担増 低所得者は負担減の改正

国民健康保険の加入者は、下記をみてわかるように低所得者が多く、年々低所得者加入が増え、運営に苦慮しているのが全国の傾向です。

また、会社などの健康保険は、半額は会社負担となっており、本来、国保においてこの分は、国が負担することになっていました。しかし、この額が減額され、国保加入者にとっては大きな負担となっています。

6月議会でも高所得者の負担を増やし、低所得者の負担を軽減する条例改正があり、692万円減収となりますが、こうした手法ももう限界にきているのではないのでしょうか。

### 増える低所得者 保険税の軽減措置は、 全世帯の38.8%

市側の答弁から、軽減措置を受けている世帯の多さが明らかになりました。所得に応じ、7割、5割、2割の軽減措置がありますが、現状は次表のとおりです。

### ★軽減措置を受けている世帯数

	世帯数	割合
7割軽減	1,862世帯	18.7%
5割軽減	943世帯	9.5%
2割軽減	1,045世帯	10.5%

(割合は小数点第2位を4捨5入)

### 増えつつける「リストラ」

一定の条件を満たす退職に対しても保険税の軽減措置があります。この措置を受けている世帯は、特定の年代に限られておらず、すべての年代に広がっていることが答弁から明らかになりました。こうしたデータからも市民のみなさんの暮らしが見えてきます。国民健康保険は、福祉色が強く、みんなの保険と言えるのではないのでしょうか。

### ★リストラ軽減の申出者数

	申出者数
平成24年6月現在	348人
平成25年6月現在	474人
平成26年6月現在	599人

## 愛西市の 国民健康保険の現状と基礎知識

### ① どんな人が加入するの？

- ・ お店の経営者や農業等に携わる人とその家族
- ・ パートやアルバイトなどで職場の健康保険に加入していない人
- ・ 退職などにより、職場の健康保険をやめた人とその家族など

### ② 現在の加入者数は？ 平成26年6月末現在

20歳未満	2,101人
～60歳未満	6,356人
～65歳未満	2,435人
～70歳未満	3,982人
～75歳未満	3,962人
75歳	4人
合計	18,840人

### ③ 財源は？ 平成24年度決算

国民健康保険は、特別会計で運営されており、約23%が加入者の払う保険税、約23%が国・県からの支出金、約7%が一般会計からの繰り入れで運営されています。その他、前期高齢者交付金などがあります。

### ④ どんな事業に使われているの？

加入者の医療費及び高額医療費、後期高齢者の保険会計への支出などのほかに、出産育児一時金、葬祭費補助などにも使われています。

# 市民の声の届く市政を

## 質問

市における明るい選挙推進協議会の活動、取り組みは。

## 総務部長

明るい選挙推進協議会は、地方選挙において全国で選挙違反が横行したのを受け、その選挙を正しくきれいなものにしよと市民活動の広がりの中で全国的に設置をされた。

市の活動の取り組みは、常時啓発もし、選挙についての重要性も認識している。出前トークや出前講座の要望があれば、県とも一応連携をし応

えていく。

## 質問

近年、期日前投票に対する認識が浸透してきている。投票率の向上と有権者がさらに

利用しやすい環境を整えるために設けられたものである。より多くの市民の方の声を市政に届けるべく、佐織・八開地域の方たちのためにも、現佐織支所と佐屋の本庁の2カ所で期日前投票を行えるようにしては。

## 市長

今現在、必ず投票率が上が



竹村仁司 議員

るといふ手法は確立されていないと思う。期日前投票所を設置して投票率が本場以上に上がるのか、過去からの経緯・結

# 健康増進事業の拠点づくりは

## 質問

市における健康増進事業、市長のマニフェストを具体的に実行へ移すための取り組みは。

## 市民生活部長

健康増進事業の具体的な取り組みについては、一人でも多くの方に健診を受けてもらい、がん・糖尿病などの早期発見、早期治療につながるような体制づくりを進めていく。

果を踏まえて、なかなか結びつけるのは難しい。しかし、少しでも政治や行政に興味を持つてもらい、投票率が少し

## 質問

健康増進と医療はセットで考えるべきだ。その点から、健康増進事業の本丸は直営八開診療所にするべきで、例えば名前を「直営クリニックあいさい」とか「直営健康センターあいさい」などとし、本丸としての機能を発揮させては。

## 市民生活部長

診療所として、地域医療に果たす役割については、他の医療機関の動きも参考にしながら、今後、情報収集をしていきたい。八開診療所に来る患者も高齢者が多く、その名も浸透しており、このままの名前でいきたい。

でも上がるように、選挙管理委員会も含め、今後協議・検討していかなければならぬい。

平成26年度からは、特定健診、がん検診、各種検診の実施体制の見直しをした。市民の方に身近で簡単に便利な健診となり、受診率の向上につながる事が、市民の健康づくりになることを目指している。



▲直営八開診療所



河合克平 議員

## 子ども医療費の負担ゼロを求める

### 質問

「子どもの健康を考えると早期治療したいが、家計のことを考えるとできない。子どもの体のことを思うと心配だ。一日も早く、完全無料化を実現し、子どもの健康の不安を解消してほしい」「このまま中学校卒業まで完全無料化にならないのなら、富山市に引越そうと考え中だ」という市民の声を代表して、子どもの医療費の中学校卒業までの完全無料化を一日も早く実現するよう求める。

愛知県内の自治体で、中学生への医療費の助成をしている

### 質問

子育て世帯だけ、税金の負担が増えた。年少扶養控除の

### 市長

医療費の無料化については愛知県で一番遅れている状況になるが、保育料が安い、児童クラブの事などトータルで考えていかなければならない。

ないのは、平成27年度より江南市が拡大するため、愛西市だけとなり、愛知県下で一番遅れた自治体となる。市の見解は。

廃止に伴う増収分を、子育て世帯が切望する中学校卒業までの医療費無料化のために使うことは、市民感情から当然のことではないか。

### 総務部長

税金の増収分は、一般財源として扱うので、福祉だけでなく、庁舎建設の財源にも一部充当している。

### 質問

子育て世帯は、増税になっており、財政的に大変な状況

## 安全で利用しやすい佐屋駅整備を

### 質問

「佐屋多度線が混雑し、駅前広場が狭くて危険。北へ抜ける道を拡幅して混雑を緩和してほしい」「北側の細い路地が危険。通学路であり、その時間帯は車両通行止めにしてほしい」「駅の東からは、乗車口に行けない。勝幡駅のように、線路の反対側からも乗車できるようにしてほしい」

なので、子育て世帯の支援の拡大が必要ではないか。

### 市長

全市民が、安全で豊かに暮らせる愛西市のため、持続可能な市政を進めていく。

「という市民の声が寄せられている。佐屋駅前整備計画予備調査の結果について報告を求める。」

### 経済建設部長

駅の東西に駅前広場をつくり、県道佐屋多度線を鉄道の下をくぐらせるといふ都市計画があった。諸手続き、事業費が莫大であるので、早急な

### 質問

整備は困難である。

暫定的にでも早急に危険な状況を減らしていくことが必要ではないか。

### 経済建設部長

有効な補助事業を勉強しながら都市計画の変更も踏まえ総合的に考える。





# 愛西力を高める方法

## 質問

市民から合併してよかったと聞くことが少なく、「合併時のサービスは高く負担は軽く」の約束をほごにせざるを得ない訳を整理すべきだ。とりわけ教育問題では、不登校、学力の情報開示「愛知県下で愛西市の学校が、どの位置にいるのか、何が弱いのか」市として学力の向上のためにどんな方法を取っているのか。

## 教育部長

総合計画の基本施策で、8つの項目で進めている。



大野則男 議員

不登校生については、県派遣のスクールカウンセラーが、全中学校に派遣されており、市雇用の臨床心理士とも連携をとり対策を充実させ、市江コミュニティで、学校生活適応教室を運営して保護者へも周知を図っている。

学力向上については、国際理解力を高めるためにAET・外国語指導補助員を配置して、指導している。市として全国学力・学習状況調査などの情報は現段階では開示しない。

## 質問

まちの活性化、愛西力を高めるため、「コミュニティが、これからどうあるべきと考えられているか。地域の特性を活かし、きめ細かい単位で、地域課題に取り組むべきだが、モデル地区を定め、市民と協同で、地域まちづくり計画を定めるべきではないか。

## 企画部長

財政も厳しく地域の事は地域を一番よく知っている方々に、自治の担い手となってもらう「コミュニティが重要な役割と考えている。

「コミュニティは、小学校区に1つずつが基本で、リーダーを養っていく事が、これからの課題の一つと考える。

## 質問

企業誘致について。なぜするのか。なぜその場所に決めたか。工程表をなぜ明らかにしないのか。企業誘致のみならず都市計画を全体で考え、永和駅周辺整備を進めるのか。

## 経済建設部長

企業誘致は、自主財源の確保・雇用の場の提供・活性化と発展になる。

弥富インター周辺地区は、

農業振興区域の優良農地で、南河田地区に比べ地盤も低く造成費が高く、用地単価も2倍程度高い。企業庁と市が協議して分譲可能であるので南河田地区に決めた。

前市長時に、4億円でインター周辺の企業誘致のために、予算を投じ道路整備した。

## 市長

永和駅周辺整備は、近隣市町村と、連携をしなければ、不可能。

津島市が、どのような方向性を持っているか

確認していない。当然、住民の理解と協力がなければできない。

愛西佐織地区 開発スケジュール

	平成26年				平成27年				平成28年				平成29年				平成30年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
地区計画																												
農除外																												
埋文																												
土壌調査																												
開発に係る事務																												

## 市民の安心・要望がかなうまち



石崎たか子 議員

### 質問

過日、挙行された市議会議員選挙において、期間中、市民から苦情や要望が寄せられた。一番多かった苦情は、スピーカーの音量。他候補者の中傷。選挙管理委員会には、どんな指摘が多かったか。

### 総務部長

4年前に比べ、数多く寄せられた。選挙違反や選挙運動に関するものなど、多岐にわたってあった。

候補者間の誹謗中傷と思われるものもあった。街宣車のスピーカー音量の苦情も相当

あった。

### 質問

一番身近な選挙にもかかわらず、投票率が悪くなっておらず、選挙離れが目立った。来年は知事選挙、県議会議員選挙がある。推進の状況は。

### 総務部長

特に、啓発、活動についても取り組めるものについては、順次取り組んでいきたい。

### 質問

今夏、佐屋プールは、プールの老朽化がひどく、水を

張っても漏水するため休止、廃止もあると報じられた。昭和57年に佐屋プールは開設。昨年度は、7千883名の利用者。現在、保護者、一般向けにアンケートをしている。パートで、遠方に連れていけない保護者は存続を要望。昨年11月に漏水で3回も排水管の調査をした時に、業者の判断を聞かなかったのか。この問題はもっと早く行うべきで、この夏は、利用者に休止のままにするのか。もし、市の判断でこれ以上の存続は難しいとなれば、未利用者にまで、アンケートは不必要。市の方針は。

### 教育部長

今後の方針を明確に決定してないので、代替案の具体的な検討に至っていない。

市民の意見を参考にプールのあり方、改修方法、金額など、総合的に判断し、決めたい。

### 質問

市巡回バスは、4月から路線、時刻と順路の変更がされた。

苦情をいろいろ聞き、決定前に各地元に照会があっても良かったという思いがするが、市民の声をどのように反映したか。

### 総務部長

今回の改訂は、平成24年度から2力年にわたり、業者委託をして、愛西市巡回バス活性化のための調査を行ってき

た。一方で一般募集によるワークショップを各地区2回程行い、住民から、声を直接聞いて利用者の求めているものを取りまとめることも、過去3年間の全停留所における停車時間ごとの乗降客、利用者の数を分析して、現状把握も行ってきた。



▲佐屋プール

# これからの高齢者対策は

## 質問

国が掲げる社会保障改革の中の重要項目として、地域包括ケアシステムの構築がある。平成35年までに日常生活圏で住まい、生活支援、24時間の在宅介護、医療、そして予防の全てのサービスが受けられるようにするというビジョンを、国は実現に向けて、目指している。

## 市長

このシステム確立に向けて、関係するみなさんと協議し、構築に向けて進めていかなければならないが、大変厳しい内容だと私自身は感じている。地域地域で実情も違い、今置かれている立場も違う。その中で、やらなければならぬことについては当然やっつけていかなければならない。いろいろと協議していきたい。

津島市では、地域包括ケアシステムの実現に向けて、23年度より津島市医歯薬介連携推進協議会、あんしんネットつしまという活動が始まっている。市の地域包括ケアシ



山岡 幹雄 議員

## 質問

高齢者の福祉タクシーを利用できる対象者はどのようになっているか。

## 福祉部長

65歳以上のひとり暮らし、または65歳以上の高齢者のみの世帯。

## 質問

同居している方が、共働きで昼間いない場合、利用できる方策はないか。

## 福祉部長

日中独居の認定と、財政的な負担を考えなければならぬ。現在のところ市は、尾張地区で一番低い年齢から対象にしているので、理解してほしい。

# ゴミのポイ捨て禁止条例は

## 質問

ゴミのポイ捨ての防止やペット、犬・猫のフンの後始末など、マナーの向上をどのように啓発を行っているか。

## 市民生活部長

広報紙、ホームページへの掲載、立て看板による啓発を行っている。

## 質問

ゴミなどのマナーの悪い方が、道路交通法違反や軽犯罪法違反で捕まっている。全国的にポイ捨て禁止条例を制定している自治体があるが、市の考えは。

## 市民生活部長

空き缶等ごみ散乱防止条例が平成17年に制定されたが、

## 質問

罰則規定は今後検討するか。

## 市長

状況、他の事例、また効果なども検討し、市として必要かどうか検討していきたい。





高松幸雄 議員

## 子ども医療費助成の拡大を

### 質問

市では、子ども医療費の無料化は平成22年4月より小学校6年生まで拡大された。それから4年が経過し、中学卒業までの拡大が必要と考えるが、本市としての考えは。

必要があると考える。

### 質問

あま市と稲沢市では26年4月1日診療分から自己負担分の3分の2が支給になった

が、市も段階的に拡大を考えたらどうか。

### 市民生活部長

今後の財政状況などを見ながら考えていく。

## 福祉有償運送制度の確立を

### 質問

要介護者、身体障がい者に対する十分な輸送サービスが確保できないと認められる場合に、実費の範囲内でNPO、公益法人、社会福祉法人などが家用自動車を使用し、会員に対して行うドア・ツー・ドアの個別輸送サービスを提供する福祉有償運送の利用状況は。

なNPO事業の参入に期待し、本市も働きかけをしていきたい。

### 質問

福祉有償運送、介護タクシー、福祉タクシーの違いが、わかりにくい。広報で違いを紹介することを考えては。

### 福祉部長

今後、わかりやすく紹介することを考えていく。

### その他の質問

- ・婚活支援について
- ・商店街活性化について

### 質問

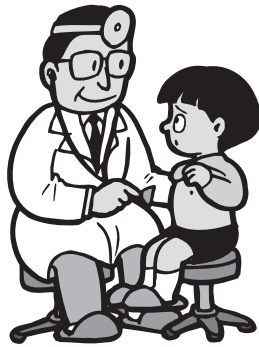
新たなNPO事業参入や、ボランティアの募集を市で考えては。

### 福祉部長

外出困難な方の足を確保することは大きな課題である。これからの外出支援の手段として考えていく。今後、新た

### 市民生活部長

子ども医療費の助成は子育て支援の柱であり、県内の多くで通院を中学卒業まで拡大している状況は承知している。しかし、保育サービス、児童館、子育て支援センターの充実など、総合的な子育て支援策のなかで検討していく



## 支所を活用——期日前投票の実施を

### 質問

「佐織庁舎を残して防災などに活用してほしい。」「遠くに行けないので、支所で全てのサービスが受けられるようにしてほしい」という声を聞いている。

市は支庁舎整備計画のバブルックコメントを行ったが、件数や内容、それに対する市の回答は。また、計画の地域説明会をやる考えは。

### 総務部長

17人から33件の意見があった。7月には市の考え方、方針を回答したい。反映できる



真野和久 議員

ものはしていく。施設の位置が変わるわけではなく、これまでどおり利用してもらえ

点では、大きな混乱を与えることはない。説明会を開催する考えはない。

### 質問

市議選でも、期日前投票数は佐屋地区が2千704に対して、佐織地区807、立田地区434、八開地区166だった。支所で期日前投票をやってほしいという声をよく聞く。一カ所しかないことが、低投票率の要因にもなっていると考えられる。

期日前投票の各庁舎での実

施、数日間の一部実施も可能だと思いが、検討を。

### 総務部長

数値で比較すると、格差はあるという捉え方もある。しかし、「ムダではないか」という意見があり、選挙管理委員会が審議し導きだした。今後検討すべき課題とし、一部柔軟に対応していきたい。



## 大規模地震——新被害想定への対応は

### 質問

県の防災会議は5月31日、新たな愛知県東海地震・南海地震・南海地震等被害予測調査結果を発表した。

今回の特徴は、堤防の沈下による被害だ。市では、理論上最大モデルで、死者1千人。うち浸水・津波で800人の被害が想定された。市の防災計画の見直しが考えられるが、現段階での考えは。

### 総務部長

重く受けとめている。資料がまとまり次第、ホームページや広報紙で特集を組む。

特に、堤防の沈降による浸水被害が予想されている地区については、地域の防災訓練などを利用し、情報提供し啓発していきたい。

### 質問

ある程度予測できる風水害とは異なり、緊急、迅速に対応が必要な地震被害の場合に

は、高台などの避難場所の確保や避難の具体化などが求められるが。

### 総務部長

市もハザードマップで既に周知は図っている。最優先に必要な対策としては、建物の耐震性を保ち、家具の転倒防止対策。そういった備えができれば、避難する時間に余裕ができ、最悪の事態は回避される。引き続き自主防災会、さまざまな会議の場で啓発を進めていきたい。



加藤敏彦 議員

## 巡回バスの欠陥時刻表の改善を

### 質問

4月より愛西市の巡回バスのルートと時刻表が大幅に変更された。

巡回バスについて、市民から「時刻表について申しあげます。佐織南、佐織北ルートは、時間が1コースで10分から15分以上遅れるから、電車に乗れません」という声が寄せられた。

実際に確認してみると、巡回バス佐織南ルートは、1回44分のコースが、実際には22分遅れの66分かかった。運転手は、昼まで休憩なしで運転することになり、遅れを取り

戻そうとすればスピードをあげることになる。

この巡回バスは、藤浪駅に3回止まるが、2回目は13分遅れ、3回目は20分遅れる。

電車で津島市民病院や海南病院に行く方もいるので、電車の時刻に間に合わない巡回バスの時刻表は本当に問題だ。なぜ巡回バスが、時刻表どおり運行されないのか。どのように改善するのか。

愛西市の巡回バスは、利用者の中心は年金生活者だ。いまま年金生活者の年金が2度も削減された。こういう状況の中で、巡回バスを有料化する

ことは、利用したくても利用しにくいバスにしてしまう。今後増えていく高齢者を中心とした「福祉巡回バス」として、運行を行なっていくことが、今回のような欠陥時刻表をなくしていく方向であると考えてるが。

### 総務部長

大変利用者の方に迷惑をかけて、本当に申しわけない。その状況を是正するために、佐織ルートのみが、7月から時刻を一部修正する準備を現在進めている。

7月の広報とあわせて各戸に配付をしたいと思っている。

### 質問

立田地区や八開地区はルートが縮小されたため、「毎日巡回バスで佐屋の老人福祉センターに行っていたけれど、4月からバス停が撤去され、いちばん近くの道の駅のバス停までは歩いて行けません。残念ですけど行くのをやめます」(立田町)などの声が寄せられているが、バス停が遠くで利用できなくなつた方の対策の検討を求めるが。

### 総務部長

立田、八開地区も、佐屋、佐織地区においても、利用できなくなつた方というのは少なからず生じているのも事実だ。全体的に考えて運行せざるを得ないので、理解してほしい。

見直しする部分については、今後も検討していく必要があると思つている。

### その他の質問

・西尾張地方税滞納整理機構からの脱退を



# 認知症予防策の取り組み強化を

## 質問

厚生労働省の平成24年時点の推計によると、全国65歳以上の高齢者のうち認知症の人は15%で約462万人に上るとある。誰もが介護者になり得る社会、介護が家庭崩壊を招く時代の到来に、行政は真剣に対策を考えねばならないと、きが来ていると強く感ずる。

市の高齢化率、要支援、要介護、認知症患者数の実態はどのようになっているのか。認知症予防推進の現状と今後の活動策について尋ねたい。  
各地の生活協同組合が自治体と認知症高齢者らの見守り

協定を結ぶ動きが広がっているとの報道を見た。今後、新聞配達組合、JA海部農協、生協などを見守り協定を結ぶ検討をしたらどうか。国が推奨している認知症サポーターに認定された職員及び市民の数はどれほどになっているのか。

## 福祉部長

市の高齢化率は本年4月1日現在で27.5%。介護認定状況は本年3月末現在で、要支援628名、要介護1千831名、合計2千459名。また、認知症に特化した統計は行われていない



鷺野聡明 議員

で、推計値で国はおおむね8%から10%程度ではないかと示している。自立度IとIIaの方を人数に換算すると8%でおおむね1千400人ちょっと、10%になるとおよそ1千800人の数字。この範囲の中で、いわゆる認知症の方が市にいるとの推計は可能かと思う。現在、地域包括支援センターでは、介護予防の普及啓発事業として、愛西おでかけサロンでレクリエーションをしたり、体操したり、ちょっとした物をつくってみたい、皆さんの交流

# あいさい広報の表紙へ目次を

## 質問

今年1月号より表紙から目次が削除された。なぜ目次が消えたのか。写真よりも何か中を見たいなという誘導策の表紙に。積極的に打って出るという形で表紙をリニューアルして読みたいくなる広報紙づくりを。

## 総務部長

写真とその他の情報が主張し合い結果として双方の効果を減退させてしまった。市民が読みたくなるよう、興味を持ってもらえるよう、まず表紙というものに着眼点を置いて、写真のみのすっきりした表紙に変更した。この1月に

会事業とか、はつらつ体操クラブとして、運動機能を維持する体操を定期的に続けるような取り組みを実施している。地域での見守り協定は新聞販売店とか牛乳販売店などに依頼している。また現

在、他の民間事業者と協定に向けて協議をしている。認知症サポーター養成講座の講師役(キャラバンメイト)を務めることのできる方が市内で19人、市の職員は2人登録している。



表紙全体を写真という形で発表をしたので、当分はこの状態ていく。またいろいろな意見があれば、レイアウトなどについても固定することなく見直すべきと思う。



吉川三津子 議員

### 3歳未満児の保育環境の充実を

質問

市子ども子育て会議の子育てニーズ調査では、面積的には足りているとの結果だった。しかし、最近、3歳未満児の保育ニーズが増加しているが、年齢に応じた静かさや安全など施設環境、距離などの利便性は確保できているのか。

福祉部長

現在、3歳未満の保育は、定員がいっぱいである。面積だけで考えれば、保育施設は余っているが、小さい子どもに見合った施設になっている

かと言われると、十分充足していると言えない。

今後、保育施設の整備、立地などの工夫をしていきたい。

質問

佐織保育園では、3歳未満が定員いっぱいに入園できず、施設の老朽化も進んでいる。合併前から建て替えが約束されていたが、今後の方針は。

また、今後の市立保育園の運営方針を伺う。

市長

市立保育園は、佐織地区1



▲佐織保育園

園、佐屋地区3園あり、民間保育園は園児不足となっている。市立保育園は、民間保育園で受け入れが難しい方を、責任をもって受け入れていく。佐織保育園の状況は把握しており、安全安心な保育園運営をしていく責任がある。方針が決まり次第発表する。

### 要支援者の行き場をなくすな

質問

介護保険制度改正により、要支援者のサービスが介護保険の予防給付から外され、市町村事業となる。財政状況や施策の優先順位により自治体間格差が出てくるが、市としてどんな準備をしているか。

福祉部長

国からのガイドラインが示されており、単価を決めないと進まないのが現状だ。今回の改正は、日常生活支援を多様な受け皿で担い、きめ細やかなサービスをつくるという大きな柱もある。その受け皿となる団体との話し合いは、更に広げていく。

質問

要支援者がどこでどんなサービスを利用しているかの必要量調査や、事業所が任意で行っているサービスなどの実態調査をし、準備している自治体もあるが、市は手つか

ずだ。

今後、事業所だけでなく、生活支援事業を行うNPOなどの受け皿づくりも必要になり、市と共に作り上げていく体制が重要だ。市は窓口で待つのではなく、職員自らが外に出て接点を持ちながらサービスづくりをしていかなばならないのではないかと。

福祉部長

そのとおりだ。拡大するニーズにこたえるため、掘り起こし育て、参画してもらえらる団体を増やしていきたい。

その他の質問

・環境汚染のない企業誘致を  
・大切なのはサービス内容。  
将来を見据えた支所整備を



# 愛西市議会議員と海南病院院長との意見交換会

平成26年6月19日に愛西市文化会館において、海南病院 山本院長を中心とする医師事務職の方総勢4名をお招きし、医療現場の現在の状況や海南病院がこれから担っていく役割などについて、院長からミニレクチャーを受けた後、意見交換会を行いました。

平成26年度診療報酬改定の基本ポイントとは、入院医療・外来医療を含めた医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等に取り組み、医療提供体制の再構築、地域包括ケアシステムの構築を図ることを、基本認識としています。

海南病院の海部医療圏における環境認識は、周辺医療機関の医師不足による機能低下からの回復が遅れているといった考えのもと、医療全体の機能低下を防ぐため、地域連携推進の中心的役割を果たすとともに、高度専門医療センターとして一層の機能向上を図っていく必要があるとのことでした。

そんな中、平成25年9月に愛知県から海南病院が県下19番目の救命救急センターの指定をされており、海部医療圏初とのこと。また全国の大学病院本院80病院を除く大学病院本院に準じた機能を有する病院と

して全国99病院の中の1つに選ばれているとのことでした。

山本院長からの説明を受け、議員からは、高機能外来として整備されたことにより今後、風邪などの病気程度では診てもらえなくなるのではとの質問に、そういった病気の診療も継続して行っていくが、高機能から初期まで地域医療全てを力パするのは無理なため、病院、診療所の役割に応じた綿密な連携をこれからも図っていききたいとのことでした。



## 「市有財産有効活用事業」について視察

平成18年に教育や福祉の目的に使ってほしいと愛西市早尾町船原地区の土地・建物の寄付を受けました。

市は、将来的にも利用計画がない市有財産を有効に活用するため、公募型プログラムで事業計画及び事業者を選定する「愛西市市有財産有効活用事業」をつくりました。

平成26年度、この早尾町



の土地を有効活用するため、公募を実施しましたが提案者がありませんでした。

市は今後引き続きこの施設が有効活用に関して検討が必要と考えています。

議会では、全常任委員会終了後、この土地を視察して、今回の公募の失敗について課題などを聞きました。



## 議会活動日誌

26年 7月

3日 海部地区急病診療所組會議会臨時会

議会広報特別委員会

10日 議会広報特別委員会

17日 議会広報特別委員会

25日 海部南部水道企業団定例議会

30日 海部南部水道企業団議会工務委員会

海部南部水道企業団議会総務委員会

## 平成26年9月定例会の開催日程（予定）

9月定例会は、

**9月2日(火)から9月26日(金)**

までの会期で開催予定です。

- 本会議は午前10時から開催します。
- 日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

9月 2日(火)	本会議(第1日)
9月 9日(火)	本会議(第2日) 議案質疑
9月11日(木)	一般質問
9月12日(金)	一般質問
9月16日(火)	総務委員会
9月17日(水)	文教福祉委員会
9月18日(木)	経済建設委員会
9月22日(月)	決算特別委員会
9月26日(金)	本会議(最終日) 討論・表決

### 編集後記

前任期に引き続き、広報特別委員を希望し、議会だより編集に関わることになりました。広報委員は、原稿の校正をしたり、ときには記事を書いたり、地味な作業が多く敬遠されがちですが、市民のみなさんと議会をつなぐ大きな役割を担っていると、私は思っています。

議会の様子をわかりやすくお伝えすることが、市政への関心を高め、ともに愛西市の将来を考えるきっかけとなります。新人議員が2名の広報委員会。市民目線を大切に、これからも議会だよりの編集だけでなく、議会放映案づくりなどにも積極的に取り組んでいきます。

なお、議会放映には費用もかかります。こうした情報もできるだけお伝えしながら、進めていきたいと思っていますので、みなさんのご意見をお待ちしております。

(吉川三津子記)

委員長 真野 和久  
副委員長 吉川三津子  
委員 山岡 幹雄

島田 浩  
神田 康史  
高松 幸雄